



38 創立：1984.7.10/証認：1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒540-0001 大阪市中央区城見2丁目2番22号
ホテルモントレ ラ・スール大阪

電話：06-6937-8171 ファックス：06-6937-8011

例会日：毎週火曜日 12時30分/例会場：ホテルモントレ ラ・スール大阪

会長：鳥居和久/幹事：須田幸史朗/SAA：山本隆一

電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp

ホームページ：<https://rc-osaka-tsurumi.jp/>



奉仕しよう
みんなの人生を豊かにするために

特別会報 3月号

新型コロナウイルス 感染拡大防止のため、臨時休会

第<1741回>	2022年3月 1日	本年度第 26回
第<1742回>	2022年3月 8日	本年度第 27回
第<1743回>	2022年3月 15日	本年度第 28回
第<1744回>	2022年3月 29日	本年度第 29回

前回の報告

会長インフォメーション PRESIDENT INFORMATION 会長：鳥居 和久

皆さん こんにちは。冬季五輪に合わせたようにロシアのウクライナ侵攻が始まり、連日の悲惨な映像を見てもどうすることもできない虚しさを感じておられるのではないのでしょうか。

国家の本能をむき出した大国の狂気の国家指導者には我々は何もできない無力な存在であるということを思い知らされました。

経済制裁によって金融資産の価値が下がり、燃料費から何から何まで物価が跳ね上がり、新型コロナ禍も未だ残っている中で、様々なものが冷え込むのですが、それでもキエフの街で不安な時間を過ごしている人々の苦しみ、悲しみに比べたらなんてことのない、と考えるしかないようです。

新型コロナ禍と同様に、いつ終わるか分からない軍事作戦にどれだけ翻弄されるのかは分かりませんが、明日こそもう少しましなニュースが飛び込んでくることを願っています。



水と衛生月間

鶴見ロータリーの会員の皆様幹事の須田です。

オミクロン株に加え、ロシアのウクライナ侵攻。一体世界はどうなっていくのでしょうか？ 疫病の後は戦争って人類はずっと同じ歴史を繰り返してますね。

先日 鶴見公園にあるアーモンドの森の木が枯れてると発会員からご指摘があり、パークセンターの担当者の方達と鳥居会長、田中会員とミーティングに行っていました。ミーティングの前にアーモンドの森を視察してきたのですが想像以上に酷く、最初に植えた木はまだ大丈夫(それでも普通より育ちが遅いそうです)でしたが、後に植えた木は殆ど枯れた状態で見ただ目にもかなり悪いので、完全に枯れてる木は丸ごと撤去してもらいました。

パークセンター様のお話によりますと、そもそもアーモンドの森の場所の土壌は水はけが以上に悪い場所で、雨などが降ったあと土中に水が溜まり根腐れを起こしてるようなのです。後期に植えた場所は特に悪いそうでそれが原因で枯れたそうです。パークセンター様も土の入れ替えなどして対策をしてくださいますして開花の時期まで様子見だそうです。

先日 理事会がありまして 決定事項を掲載させて頂きます。

- 1.例会場変更による会場費値上げに伴いビジター費は4700円で決定
- 2.まん延防止重点措置期間は休会とする

次年度幹事報告

副幹事:稲垣 良二

1. 次年度委員会構成(案)について、クラブ細則・内規を再確認の上委員調整し、次回理事会に提出することとなりました。
2. 次年度活動案について、さつまいもプロジェクトは10年を迎え地域の活動として根付いたので今年度で終了することとなりました。

広報・IT・会報・雑誌委員会報告

「ロータリーの友」3月号記事紹介 委員 清水 正憲

1. 3月は、「水と衛生」月間だそうです、
・横組7頁以下に特集記事がありますが、個人的には、京都東RCの「都市養蜂」の記事に関心が向きました。

2. 世界ローターアクト週間(3/7~14)にちなみ、同14頁以下に、「ローターアクト」の紹介があります。この機会に、あまりなじみのない「ローターアクト」にも目を向けましょう。

3. ぼつぼつ7月からの新年度に向けた話題が出ますが、同17頁以下に、新年度 RI会長(現在のエレクト)の紹介記事があります。初の女性RI会長-こういう言い方がジェンダー・ギャップを強調してしまうのでしょうか、男性のみがRCの会員資格を有していた時代を知っている身としては、いささか「隔世の感」があります。

4. 例によって、個人的には、縦組の記事が好みのごとが多いのですが、今月号も、東日本大震災の体験記(縦組4頁)、仏画師である河内長野高野街道RCの次期会長の紹介(同9頁)といずれも興味深い記事です。

その後も、卓話の泉(同13頁)、俳壇、歌壇、柳壇(同14頁)・・・と毎月おなじみの記事が続きます。

😊 NIKONIKO箱 😊

¥5,000.- 累計 ¥252,500.-

水口会員 謹啓

御尊家御一同様には愈々御清祥のことと御慶び申し上げます

過日 父 富三男 儀 死去の節には御繁忙中にもかかわらず御懇篤なる御弔慰を賜わり 尚 格別の御香志に預り誠に有難く厚く御礼申し上げます

御蔭を以ちまして本日滞りなく満中陰の法要を相営み忌明けしました

早速拝趨親しく御礼申し上げべき筈で御座いますが略儀ながら粗箋を以ちまして謹んで御礼の御挨拶を申し上げます

敬具

令和四年二月三日

卓話

「またか」を覚悟の上で、ロータリーの原点を 二宮尊徳翁の教えを通して解釈する

担当：山本会員

入会以来、私が今日までに接したロータリーの原点、精神規範、行動規範に関する教えの中で、特に印象に残り、今も私の中でロータリーの基軸として大切にしているものがあります。

- ①ロータリー運動は倫理運動である
- ②ロータリーは会員自身の心の開発を第一義とする団体である
- ③ビジネスで成功するには、どんな人間になるべきかを学べるのがロータリーである
- ④ロータリーのロータリーたる所以は職業奉仕の実践にある
- ⑤職業奉仕の実践は例会出席から始まる
- ⑥例会は卓話を聞き、会員同士の交流を通じて様々な事を学ぶ(心の開発)場である
- ⑦上記⑥故に、ロータリーは例会出席を重視する
- ⑧職業を倫理的に営めば、信頼と信用が得られ、それにより自分の会社が強靱化する
- ⑨ロータリークラブは寄付団体でも慈善団体でもボランティア団体でもない
- ⑩慈善事業を行っても良いが、優先すべきは職業倫理の実践と自分の会社の経営の安定

私は、ロータリーの倫理と二宮尊徳の道徳は同義語だと考えます。ロータリーも尊徳もより良い社会の実現を俯瞰しているのは同じで、道徳(倫理)や経済(職業)に対する考え方も近いと思います。そして、より良い社会の実現のため、道徳で経済をコントロールするという見識も一致していると思います。ロータリーも尊徳も社会と経済の発展を俯瞰し、真理を追求した結果、同じ道に辿り着いたのではないかと私は思います。私自身、道徳が強い経済をもたらすと思う根底には、尊徳の教えを精神的バックボーンにして経営を実践したとされる、渋沢栄一、豊田佐吉、御木本幸吉、松下幸之助、土光敏夫、稲盛和夫等の偉大な実業家の存在と成功事例があります。また、これらの実業家が近代日本経済の礎を築いたという歴史的事実が、経済における道徳の実践は、ビジネスの成功と社会貢献の両立をもたら

すことを証明していると考えます。それでは、例により、尊徳の教えを幾つかご紹介しながら、私なりにロータリーを解釈していきたいと思います。

■至誠(しせい)

至誠とは、誠実な態度、真心を尽くすという意味です。豊かになりたければ、自分に対しても社会に対しても誠実でなければならない。何をするにも心掛けが重要だという教えです。私は、これは倫理、職業、奉仕の基本中の基本ではないかと思います。そして、至誠は、自分の仕事に対しても、ロータリーの活動に際しても堅持すべき精神規範だと思います。

■勤労(きんろう)

勤労とは、身を粉にして働くという意味ではありません。創意工夫をして生産性を高め、付加価値の高い仕事をするのが勤労です。尊徳は、仕事は嫌々するものではなく、喜びを感じるものでなければならない。自分の職業に誇りを持ち、職業の尊さを自覚し、精一杯の働きをすべきである。職業を通じて社会に喜びと満足を提供すれば、その見返りとして「売って喜び、買って喜ぶ」が実現する。これが経済だと説いています。ロータリーのめざす職業倫理と尊徳の説く勤労には共通の価値観があると私は思います。

■推譲(すいじょう)

自分の富を他人や社会のために提供することを推譲といいます。推譲の対象はお金だけではありません。知恵、技術、物資、労働等、物心両面に及びます。尊徳は、推譲は平和な社会を建設する源泉であり、社会の安定と将来の発展に必要な社会保障を実現する。社会へ譲れば、結局、自分に恩恵として戻ってくると説きました。ただ、相手にとって役に立つ推譲をしなければ、いくら推譲をしてもかえって相手の迷惑になるだけだとも言っています。ロータリーの社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、財団、米山。これらの奉仕は全てロータリーが実践する推譲だと思います。

■一円融合(いちえんゆうごう)

一円融合とは、自然界と人間界、道徳と経済等、相対するもの双方がバランスよく共存し、融合することで新たな価値が生まれ、社会は発展する。その結果として、人々に幸福がもたらされるという尊徳の教えです。複雑に利害が絡む社会問題の解決に

Rotary



ROTARY

121万の
ボランティア会員
世界200カ国

(3ページより)

こそ、相対するものを対等に位置付ける一円融合の精神が有効だと説いています。ロータリーも職業と奉仕、相対するものを融合させています。また、ロータリーが重んじる多様性、世界平和、国際親善等のめざすところは、一円融合の価値観と同じではないかと私は思います。

■道徳経済一元論(どうとくけいざいいちげんろん)

尊徳は、道徳と経済は別々にあるのではない。道徳のないところに健全な経済はなく、経済のないところに道徳は根付かないと考えました。どんなに立派に道徳を説いてもお金や食べ物がなければ生きていけない。経済の裏付けがあって初めて生活ができる。しかし、経済成長によって社会の発展を持続させるには道徳規範が不可欠である。尊徳は、心の修養を積むことで経済の発展を図り、経済の発展によって、一層道徳を発揚していくことが人の道であるとなりました。そして、道徳によって奪う事、争う事のない平和な社会が実現できると説いています。道徳経済一元論は、世の中全てが慈善団体では成り立たず、営利団体が道徳を以って経済を回すことで社会貢献を可能にすることを示しています。言い換えれば、両者がバランス良く機能しないと社会の発展は望めないということでもあります。ロータリーの教えの中に「慈善事業はロータリーでなくてもできる。慈善事業を否定はしないが、職業倫理の実践が優先」がありますが、これは、そもそもロータリーは経済を回す側の団体なのだから、経済人としての務めをまず実行しなさい、という意味だと思います。ロータリーの職業奉仕は難しいとよく言われますが、**職業奉仕 = 至誠 + 勤労 + 道徳経済一元論**

と解釈すれば、理解しやすいのではないかと思います。

最後に、タイトルに書いた通り「またか」と思われた方が大半だと思います。しかし、あれから3年経ちました。それ以降に入会された会員もおられますので、今回、あえてこのテーマを取り上げさせていただきました。ご一読いただければ幸いです。

今月の表彰とお祝い

◆誕生日

源 壽美子

◆在籍年数

36年 浮舟 邦彦、 13年 津野 友邦
12年 鳥居 和久

◆ホームクラブ10回連続賞

なし

◆結婚記念日

3月21日 山崎 修一
3月22日 山本 隆一
3月26日 覚野 廣久

◆事業所創立日

3月3日 広瀬 芳和
3月3日 西野 政治
3月27日 田中 英司
3月27日 浮舟 邦彦

各会員

